

動きます、佐賀市。

NEWS LETTER | VOL.52

CloseUP

神野公園「令和のリニューアル」 進行中

誰もが、いつ来ても楽しめる
「New KONO PARK」へ



180年前に築かれた「神野御茶屋」を起源とし、長年愛されてきた神野公園。歴史や景色を受け継ぎながら、リニューアルを進めています。
現在、民間ならではの自由な発想を取り入れた空間づくりを進めています。カフェや体験など行政の枠を超えたアイデアを募り、「また来たい」と思える公園へと動き出します。
思い出の風景に「新しい楽しさ」をプラスし、いつ来てもワクワクできる場所へ進化します。

いつもの風景に新しい楽しさが加わり、空き家が誰かの挑戦の舞台へ変わる。子育ての朝にちょっとしたゆとりを。日々の暮らしに寄り添い、心地よい変化をお届けします。

坂井市長



News

空き家を「次」へとつなぐ 新たな動き



所有者の「悩み」に寄り添い、
まちの「魅力」へと育てる

空き家の相談から活用まで、持続的な仕組みづくりを進めています。

出張相談窓口
についてはこちら

6月には、空き家をカフェや働く場などに変えたい人をサポートする「エアースクール」を開催し、7月からは所有者の悩みに専門家が応える「出張相談窓口」を支所で順次スタートします。
「どうしたらいいか」と悩むその家は、誰かが探していた挑戦の舞台かもしれません。まずは身近な窓口で、解決の糸口を探してみませんか？

Media

公立保育施設で 「おむつサブスク」開始

毎日の荷物と手間を減らし、
こどもと過ごす朝夕にゆとりを

市内の公立保育施設で「おむつサブスク」が始まりました。園に直接おむつが届く定額サービスで、各家庭の状況によって利用を選べます。
毎日の名前書きや持参の手間を省き、保育現場の負担も減らすことで、その分を「こどもと向き合う時間」に変えていく新たなサポートです。
こうした選択肢を広げていくことで、それぞれの家庭に合った心地よい子育てを後押ししていきます。

佐賀市の公立4保育園で「サブスク」導入



月額2290円 保護者と保育士の負担軽減へ

紙おむつ、定額で何枚でも